

前奏 黙想	祈 禱
讚美歌 15 我らのみかみは	讚美歌 II-177 あなたも見ていたのか
祈 禱	献 金
信仰告白 使徒信条 566	讚 詠 547 いまささぐるそなえものを
聖 書 エゼキエル書 34:1~6	黙 禱
マタイによる福音書 27:37~44	主の祈り 564
讚美歌 133 よはふけわたりぬ	讚 詠 546 聖なるかな せいなるかな
説 教 『沈黙』	祝 禱 後 奏

十字架につけられたイエス(マタイ 27:35)。ローマの兵士に侮辱され(マタイ 27:28~30)、同胞の民衆に罵られ(27:39~40)、信仰の権威者たちから侮辱され(27:41~43)、同じく十字架で殺されようとしている者にさえ罵られている(27:44)。漏斗状の暗闇、そんなイメージが浮かんだ。中心の底部には十字架があり、そこへ人間すべての悪意が流れ込んでいくような。イエスの「沈黙」が人間の闇を引き受ける。

「イエスの頭の上には〔これはユダヤ人の王イエスである〕と書いた罪状書きを掲げた(27:37)。「ユダヤ人の王、万歳(27:29)」という皮肉や揶揄は、ユダヤ人にとって到底受け入れ難い(ヨハネ 19:21)。だがイエスへの憎悪が勝り、調子を合わせて侮蔑する(マタイ 27:42)。そもそもファリサイ派の律法学者と、サドカイ派の祭司長や長老は聖書(旧約)の読み方も違うし、水と油の関係だが、イエスへの恨みで一致するとは、実におぞましい団結。また通りかかっただけの経緯も知らない野次馬まで(27:39)、頭を振りながら「神殿を打ち倒し、三日で建てる者、神の子なら、自分を救ってみろ。そして十字架から降りて来い(27:40)」と暴言を吐く。あたりはリンチに同調する、人間の暗い昂奮に覆われている。

イスラエルの牧者であるはずの信仰権威者への預言(エゼキエル 34:2)。「お前たちは弱いものを強めず、病めるものをいやさず、傷ついたものを包んでやらなかった。また、追われたものを連れ戻さず、失われたものを探し求めず、かえって力づくで、過酷に群れを支配した(34:4)」。逆にイエスは、明らかに「弱い者を強め、病める者を癒し、傷ついた者を包み、追われた者を連れ戻し、失われた者を探し求めた」。祭司長や律法学者らのイエスへの異常な憎悪は、「乳を飲み、羊毛を身にまとい、肥えた動物を屠るが、群れを養おうとしない(34:3)」自分自身の、無意識の呵責によるものかもしれない。

ローマの長年にわたるユダヤへの蹂躪を、イエスはただ一人「沈黙」をもって負う。「ユダヤ人の王イエス(マタイ 27:37)」という皮肉な罪状書きの通りに。本来の牧者がローマに同調している状況においては、イエスが「ユダヤの王」としてたった一人で、ユダヤへの侮蔑を負っておられるのではないか。また両脇で十字架につけられている罪人は、「追われた者、失われた者(エゼキエル 34:4)」。イエスは彼らを「連れ戻し、探し求め」ているのに、彼らは「同じようにイエスをののしった(マタイ 27:44)」。ルカ福音書では罪人の一人が悔い改めるが(ルカ 23:41~42)、マタイ福音書ではそんな慰めなどなく真っ暗闇だ。

右も左も、上も下も、まるで望みのない無明。その中をイエスはただ一人、肉体の苦痛を伴いながら崩れる砂と一緒に、漏斗状の暗闇の底へ沈んでいく。ここにはほんの僅かの光もないのか。無い、ほんの微かな光も無い。しかし、聖句を通してこの場面を凝視する私たちは、ただ一点、仄かな光を感じる。イエスの「沈黙」。イエスはすでに、語るべきことは語っている。癒しも慰めも、励ましも戒めも、充分示している。十字架にかけられ、「沈黙」をもって、人間の罪をすべて負っておられる。救い主を呪う大罪も、いじましい小罪も、少しも漏らさないように、ただ沈黙して負っておられる。

仏教の「観音」が「音」を「観る」と表記するように、イエスの沈黙の響きを「観る」。あるいは、その沈黙を光として「聞く」とも表現しうるか。イエスは聖霊として、今なお、ここにおいて「弱い者を強め、病める者を癒し、傷ついた者を包む(エゼキエル 34:4)」。この生と、かの死との領域を超えて。

然りでも否でもない ただ沈黙に受けとめられている 赦されているでも 愛されているでもない
砂地を登れば登るほど底部に沈んでいく私を ただ沈黙をもって受けとめてくださる十字架の響き

3/16(土)1:30~3:30 メディカル・カフェ(集会所)。今年の復活祭は3/31。教会総会は4/21です。
牧師の動き:3/11 分区教師会(南甲府教会)。3/14 甲府刑務所で教誨。3/15 山梨ダルク支援会。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

eメールは komechan.olive@gmail.com HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。